



エリア情報 (草加・三郷・八潮)

各エリアの最新情報や気になる情報を担当委員がお伝えするコーナーです



埼玉東支部

News Letter

平成 29 年
4 月号
NO.17

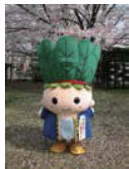
草加市ご当地キャラクター『ぱりぱりくん』



草加せんべいキャラクターのぱりぱりくんは、堅焼きでおいしい草加せんべいや、国の名勝に指定された草加松原など、草加市の魅力を多くの人に伝えるために頑張っている男子です。埼玉県内で開催されるイベント等で、大好きな草加せんべいを元気な子供たちにプレゼントをしていたり、草加市観光大使としても活躍しています。草加せんべいには、夢と希望がいっぱい詰まっています。これからも草加せんべいと草加市を、そしてぱりぱりくんを応援してください！(草加地区：永福 直樹)

Soka

八潮市ご当地キャラクター『ハッピーこまちゃん』



“ご当地キャラクター”をテーマに八潮地区からは、“ハッピーこまちゃん”を紹介させていただきます。『ハッピーこまちゃん』は、平成13年度埼玉県草加保健所、草加市、八潮市による健康日本21推進事業を実施するにあたり、八潮市が有数の小松菜の産地であることから、地場野菜の小松菜をモチーフにした食育推進のキャラクターとして誕生しました。その後、各地でゆるきやらが誕生し、ゆるきやらブームの中で、健康推進や食育推進だけでなく地域振興を含めたキャラクターとして、平成24年2月10日に特許庁に商標登録し、市のマスコットキャラクターとして位置付けられました。また、埼玉県の「ゆるたま応援団」や「けんこう大使」にも任命され、広く市民に親しまれています。(八潮地区：林 雄一)

Yashio

三郷市公式マスコット「かいちゃん&つぶちゃん」



イベントでも大活躍



グッズも展開中



三郷市公式マスコットキャラクター“かいちゃん&つぶちゃん”は、三郷市の魅力をPRする親善大使として平成21年2月1日に誕生しました。モチーフとなっているのは、市の鳥である「かいつぶり」。三郷市の魅力をどんどんお伝えるため、大活躍中です！(三郷地区：小島 一茂)

Misato



Facebook
かいちゃん&つぶちゃん
の最新活動情報はこちら



かいちゃん&つぶちゃん
のデザインを是非ご利用
ください。(三郷市HP)

輝

～ KAGAYAKI ～



編集後記

埼玉東支部 News Letter「輝」をお読み下さりまして有難うございました。広報啓発委員会は今年度、流山市、足立区の特集記事として取り上げさせていただきました。どちらのまちも全国的に注目されているまちです。残念ながら、市長さん、区長さんに直接お会いすることはできませんでした。しかし、トップの思いを120%理解する行政マンにお会いすることができ、読者の皆様に正しい情報をお伝えできたと思っています。スタッフがトップの思いを正しく伝えられるということはトップの独りよがりではなく、多くの人を巻き込んでいるという証だと思います。社業に立ち戻ったとき、果たして自分は正しくスタッフに自分の思いを伝えられているのか不安になります。社業の発展とは共通の目標、順守すべき約束を早く、正しく共有化することもできません。次号はいよいよ八潮市を取り上げたいと思います。皆様、お楽しみにお待ちしております。(編集長)

支部案内

公益社団法人 埼玉県宅建物取引業協会 埼玉東支部
〒340-0003 埼玉県草加市稲荷 3-18-2
TEL : 048-932-6767 FAX : 048-932-6360



支部事務局

◆埼玉東支部ホームページ
<http://www.takuken.or.jp/higashi>

◆お問合せアドレス
saitamahigashi@takuken.or.jp

青年部 Facebook ページ
もご覧ください。



SAITAMAHIGASHI

こんな『まち』に住みたい。～東京都足立区～



住みたい街ランキング急上昇の北千住駅前

変貌するまち、足立区！

足立区を代表する街である北千住は江戸時代より日光街道・奥州街道・水戸街道の第1番目の宿場として栄えてきた。記録によれば品川・板橋・内藤新宿という他の宿場より規模も賑いもあったようだ。かの松尾芭蕉の「奥の細道」の出発点でもある。この北千住がここ数年で大幅に変化している。「みんなが選んだ住みたい街ランキング 2017 関東版」(株式会社リクルート住まいカンパニー)で総合17位に、「穴場だと思っ街ランキング」では3年連続の1位となった。

どうしてこんなにも人気の街に変わったのか?その理由として、JR常磐線・東武スカイツリーライン・東京メトロ日比谷線・千代田線・半蔵門線・つくばエクスプレスと6路線が交差するターミナルになったこと、東口駅前に移転してきた東京電機大学をはじめとする5大学の進出などが挙げられている。しかし、それだけだろうか?2007年に足立区長に就任した近藤やよい区長の施策には注目するべきものがいくつも見られる。その一つが東京電機大学をはじめとする大学誘致であり、その他にも、「おいしい給食」や、「治安が悪い」というイメージを払拭するための取り組みの「ビューティフル・ウィンドウズ運動」などである。

どのような施策なのか?また、どのように取り組まれているのか?

まちづくりをリードする三人のトップ行政マンに聞いてみた。



駅から少し歩くと荒川土手の自然が広がる

Q1. 北千住が住みたい街ランキング17位に赤丸急上昇していますがその要因はなんだとお考えでしょう?

まず一番の要因としてあげなければいけないのは交通の利便性だと思います。東京メトロ日比谷線・千代田線・半蔵門線、TX、東武スカイツリーライン、JR常磐線と6路線が利用できるターミナルは東京都内でも類を見ません。都内の要所にほぼ乗り換えなしで行ける利便性は通勤・通学をされる方には魅力的です。そして、物価が他の街に比べて安いということがあげられます。地方から上京された方が初めての住まいをお探しになるときに、この2つの要素が大きなポイントとなるのではないのでしょうか。

最近では働く女性に住みたい街でも1位となりました。治安の悪い街というイメージが先行していましたが、そんなイメージが払拭されつつあるのかと思います。北千住駅東口駅前に東京電機大学が進出したことも街のイメージを変える一因になったようです。現在、北千住駅を利用する大学生が約1万人いるといわれています。大学生(若い人)が街を闊歩するだけで街に賑わいが生まれます。結果として、早仕舞っていた商店が夜遅くまでお店を開けたり、若者が集うお店ができたりと、街の活気がさらに増しました。



2012年に開設した東京電機大学の「東京千住キャンパス」

Q2. 足立区には5つの大学がありますが、誘致した経緯を教えてください



文教大との覚書締結(平成27年3月当時)

北千住駅東口の駅前にはJT(日本たばこ産業株式会社)の社員寮がありました。この場所に高層マンションを核にした再開発が決まっていた。しかし、直前で大学を誘致する事に変更しました。東京都からは叱られました。大学生が日常生活の中で闊歩していることが普通の風景であることにこだわりました。足立区の子供たちは余り区外に出ることはありませんでしたが、大学が地域の中心にあることで、子供たちが将来、その大学や他の大学で学びたいということを感じたり、憧れを持ってもらうことこそが大切だと考えています。現在、千住地区には東京電機大学・東京芸術大学・東京未来大学・帝京科学大学・放送大学の5校がキャンパスを構え、約1万人の学生が学んでいます。そして、文教大学が2021年4月を境に足立区花畑地区に新キャンパスを開く予定です。敷地面積は東京ドームの広さと同様4.7ヘクタールで新キャンパスでは最大で4700人が学ぶ予定です。

Q3 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」とはどんな施策ですか?

私たちは、「治安」「学力」「健康」「貧困の連鎖」を足立区が抱えるボトルネック的な課題として捉えています。そのうち「治安」に関していうと「足立区=犯罪の多いまち」とイメージしてしまう方がまだ多くいます。しかし、区の刑法犯認知件数は平成28年には6519件にまで減少し、ピーク時と比べて年間2万件以上減少しています。そして、実はその犯罪と言われているもの多くは自転車の盗難などなのです。

アメリカ合衆国ニューヨーク市は、軽微な犯罪を取り締まることで凶悪犯罪を抑制し、治安を回復させました。これは、割れた窓ガラスを放置するような軽微なことから地域全体が荒廃し、犯罪も増えてしまうという「割れ窓理論(ブロークン・ウィンドウズ)」による対策です。これを参考に、「美しいまち」を印象付けることで犯罪を抑制しようという区独自の運動が「ビューティフル・ウィンドウズ運動」です。「美しいまち」は「安全なまち」を合言葉に、地域の方々による街の美化活動や防犯活動が展開されており、今では数万人規模の区民の方が参加してくれています。

ただ、治安も学力も健康も、全ての根っこのには「貧困の連鎖」の問題があると認識しています。そのため、出産前から就労までのライフステージごとにきめ細かな対策を打つことで、連鎖を断ち切る、もしくは連鎖に陥るリスクを極力低減するよう努めています。

人口減少、少子超高齢社会が進展していく中で、将来の区の支え手である子どもたちが、自分の人生を自ら切り開き、経済的に自立して人生を豊かに生き抜く力を身に付けてもらうこと、担税力のある社会の一員として、生まれ育った足立区に貢献できる大人に育つことは、増大する高齢者の支援策でもあり、当区の安定的成長に欠かせない重要な意味を持ちます。

【※】ビューティフル・ウィンドウズ運動の具体的な取り組み。

- 1.《青色防犯パトロール》地域の方々が青色回転灯をつけたパトロール車(青パト)で巡回し、防犯を呼び掛け、犯罪抑止につながる活動です。
- 2.《地域防犯ボランティア》町会・自治会やPTAの方などが、子どもの登下校時の通学路の見守りや夜間の公園などの見回り活動を行っています。
- 3.《区内全域で歩きタバコ禁止》区の指導員による迷惑喫煙防止パトロールを行っています。また、主要駅周辺では路上での喫煙を禁止し、違反には罰則1,000円が科せられます。
- 4.《ワンチャリ・がっちり・ワンロック》自転車盗難件数の減少をめざした、「ワンチャリ・がっちり・ワンロック」のキャンペーンを展開しています。区のイベントで、自転車盗難の被害にあいにくいシリンダー錠の取付を行っています。
- 5.《花で彩るまちづくり》学校や地域で、通学路や公園などに花を植えています。その草花の手入れをしながら、子どもたちを見守り、美しいまちをつくる取り組みを行っています。

Q4. 「おいしい給食」を目指しているのは何故ですか？

近藤区長の肝いりで始まった事業です。近藤区長がある時、お子さんが区内で転校した父兄から、転校先の給食が今まで通っていた学校より美味しくないと言ったそうです。そんなにも学校間で給食の味が違うものなのか？という疑問から始まりました。

「おいしい給食」と言っても子供たちに好きなメニューだけを提供している訳ではありません。化学調味料を使わない、食品本来の味や、調理法・生産過程を理解し、味わいながら楽しく給食を頂くということが、「おいしい給食」の考え方です。「おいしい給食」に取り組んでから9年が経ちますが、その給食を食べて育った子供たちは足立区の「おいしい給食」を食べて育ったと一種の誇りを持っており、素晴らしい食育に繋がったと感じています。

今では各学校の栄養士さんたちが切磋琢磨してどこの区立小・中学校でも「おいしい給食」が提供され、結果、残菜の量も減っています。区内では経済的な理由で三食をしっかりと取れない子供がいます。子供たちの将来を考えると親の経済力の影響で摂取すべきものが摂取できていないのは問題があると考えています。給食で摂らなくてはいけない栄養をしっかりと摂る。自分の食生活や健康は自分で考える子供に育てる必要があると考えています。



足立区オリジナルレシピをまとめた家庭用レシピ本も好評発売中

Q5. 足立区の災害対策について教えてください。



路地空間は千住の魅力のひとつ

まずは緊急車両が利用できる幅員のある道路網の整備が必要と考えていますが、面として全てを整備する必要はないと考えています。街全体としての防災対策を作る事が大切と考えています。現存する路地空間を残しながら、燃えにくいまちづくりのルールを作っていくことも大切です。また、この地域には高齢者が多く住んでいるので、災害時に必要なマンパワーを確保するためにも若い方が居住する街に変えていくことも重要と考えています。

Q6. 現在行われている特筆すべき施策があれば教えてください。

千住地区は足立区のシンボルとして、さらに大学との連携を進めるとともにエリア全体の賑わいを創出し、魅力的資源の有効活用によって足立区のイメージアップに貢献しています。しかし、足立区は面積として53.25 km²、人口が約68万人で面積で23区中3番目に広く、人口で5番目に多いためです。足立区に住みたい、住み続けていきたいと思ってくれるファンをつくるためには広い地域の中核ごとにまちの特徴・魅力・将来像を区内外に広く発信することが大切です。

足立区では「綾瀬」「江北」「花畑」「千住」「西新井・梅島」「竹の塚」「六町」の7つのエリアにおいて、大規模な区有地等を活用し、民間活力によるまちの整備を推進しています。私たちは「エリアデザインによる足立区の挑戦」と呼んでいます。代表的なものをご紹介しますと「江北」エリアには東京女子医大東医療センターを誘致することになりました。大学病院を中心として、多くの遊休地に民間の活力を取り入れて区の新たな視点づくりを図っていきます。また「花畑」エリアには花畑団地跡地に文教大学が2021年を目途に開設されます。まずは1,600人の学生が学ぶ予定になっています。新たな賑いとなることを期待しています。その他の地域もそれぞれのエリアデザインを策定しています。いずれも民間の活力を取り入れていることがポイントです。



足立区の「エリアデザイン」 「まち×デザイン＝未来」を合言葉に新しい風邪を吹き込み始めている

Q7. 草加市・八潮市・三郷市にアドバイスするとしたら？

草加市・八潮市・三郷市の各市もやっていると思いますが、足立区は平成22年より民間の人材を登用し、シティープロモーション事業を開始しました。私たちのシティープロモーションはお金をかけてイベントや広報を行うような手法ではありません。まちのイメージアップを図るには、まず、行政が行っている市民サービスを正しく伝えることが大切と考えており、たとえば、各課で作成するポスター・チラシひとつにも徹底的にこだわっています。「伝わる広報物」が生み出せるよう、職員の広報力や情報発信能力の向上を図るための職員教育も行っています。

また、まちの新たな魅力づくりも大切だと考えています。たとえば、東京芸術大学のアートイベントや、古民家をリノベーションした店舗、アートスペースなど、特に大学生などの若い力が得られるものについては、民間の活力を取り入れながら仕掛けを作っていかなければならないと考えています。そして、マスコミへの戦略的な情報発信を行い、報道により多くの方に魅力を知ってもらうことで、まちのイメージアップが図られるのではないのでしょうか。



チラシやポスターのデザインにも徹底的にこだわる

トップの熱い思いと強いリーダーシップがまちを変える！

近年、大学生の増加に伴って、古民家を利用したお洒落なカフェや素敵なビストロが路地裏にまで出店している。平日でも予約をしないと入店出来ないほどの盛況ぶりである。以前の北千住は「おじさんの街」というイメージだったがすっかり様変わりしてしまった。若者が増えたことで街が活性化し、活性化されたことで、さらに活性化が進んでいるようだ。街に活気と灯りが溢れることで、女性でも安心して歩ける街に変貌した。今まで人通りの少なかった路地裏の古民家もリノベーションをして若者向けの店舗やギャラリーに変わっている。若い人のエネルギーが若い人を呼び込む、そんなスパイラルが生じているのだろう。

足立区は近藤やよい区長の熱い思いと強いリーダーシップのもと、職員のまちづくりに対する意識が同じ方向にあるように感じた。地道な活動や施策を確実に実現していくことにより区民からの信頼を得て、また、評価され、それがマスコミに取り上げられることによってイメージアップを図っている。千住の街は近藤区長が就任する以前から使わなくなった中学校等、区の所有地の跡地利用として大学等が誘致されてきた。東京芸術大学千住キャンパスが誕生した当時、学生数は約100人だったそうで、区民には学生の姿は見えなかった。東京電機大学も中学校の跡地利用として誘致された。大学関係者が視察に訪れた時、その中学校の近隣にJT社宅跡地があるのが目に入った。既にその場所は高層マンションを建設することが決まっていたようだ。しかし、足立区は大学を誘致することに大きく舵を切った。地元住民や議会、東京都その他の軋轢が半端なくあったと思う。しかし、足立区の将来像を夢見て大学誘致に動いたわけだ。そして、1万人の若者が闊歩する街が変わり、今度は区民の目にはっきりと学生の姿が確認できるようになった。街が雪崩のように動きはじめ、商店街には活気が戻った。

北千住を起爆剤に足立区全体が動き始めている。トップの熱い思いと強いリーダーシップがまちを変えたのだ。まちのイメージは独り歩きをする。まちに住んでいない人たち、まちを見たこともない人たち、まちを訪れたこともない人たちは、ただマスコミや人伝えに聞いた情報をもとにイメージを膨らませてしまう。まちのイメージを変えるのは大変な苦勞がある。しかし、正のスパイラルの中に誘導することで、良いイメージが独り歩きしていく。(文：吉田良一)

【取材】：小川勝、吉田良一、林雄一、小島一茂



多くの人でにぎわう商店街



学生が運営する古民家を改装したアートスペース

【取材にご協力いただいた皆様】

足立区広報室長 吉田 厚子 様

足立区政策経営部 広報シティープロモーション課長

根岸 彰彦 様

足立区政策経営部 経営戦略推進担当課長

佐々木 拓 様

要確認！ 宅建業免許更新、提出期間経過で

免許満了日の90日前から30日前まで
(協会経由：100日前から50日前まで)

免許失効

宅地建物取引士証(宅地建物取引主任者証)の有効期限は大丈夫ですか？

更新のための講習会は有効期限満了の6か月前から受講が可能です。



ごあいさつ

皆様には新春をお健やかに迎えましてお慶び申し上げます。
昨年は支部運営に際し、大変ご協力頂き誠に有難うございました。

今年度は埼玉県宅建協会が創立50周年を迎え、11月には記念式典も予定しておりますが、昨今会員の減少が著しく本部では組織改革を進めており、支部としても役員数の削減、研修会等を近隣他支部との合同開催にするなど、改革を検討して参ります。

会員の皆様には大変ご負担をおかけする事になるかと思いますが、ご理解の程お願い申し上げます。
本年も支部事業運営に皆様のご支援、ご協力を賜ります様お願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



支部長 榎本 隆雄



埼玉東支部委員会及び各地区報告

総務財務兼広報啓発委員会

委員長 小川 勝

会員の皆様には、協会並びに支部の活動にご理解とご協力を賜り誠に有難う御座います。また、先日は平成29年度通常総会が盛会の内に無事行うことが出来たことを、重ねて御礼申し上げます。

本年度も総務財務兼広報啓発委員会では、新規入会者の促進運動、広報誌の発行業務、そして AED 講習の実施など数多くの事業が御座います。会員の皆様方のお役に立てるよう頑張りますので、ご協力とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

消費者相談兼法令遵守委員会

委員長 池永 幸生

今年度消費者相談委員会では、不動産無料相談所を予定通り開設し実施することができました。又、昨年9月6日には三郷市文化会館に於いて最近注目されております空き家問題をテーマにした宅建オープンセミナーを開催致しました。セミナーには、一般消費者並びに市役所の担当者にもご参加頂きました。次回の宅建オープンセミナーにも、一般消費者の皆様に興味を持って頂き一人でも多くのご参加を頂けるような企画を検討したいと考えております。

法令遵守委員会では、昨年11月に今年度対象となった会員の事務所に対して各地区の担当者による法令遵守指導を実施致しました。対象となった会員並びに担当者の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

政策推進委員会

委員長 森 正見

会員の皆様には、日頃より政策推進委員会の活動に対し、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。後期の活動といたしまして、各市長・議長への要望陳情活動を行いました。

【加西市】埼玉県南部における東埼玉道路早期開通、橋梁新設による東西南北の交通円滑化に関する件 他3件

【三郷市】県道沿いの「第一種低層住居専用地域」見直しに関する件 他5件

【八潮市】八潮市南部区画整理事業における最低敷地面積の引き下げに関する件 他7件

業務支援委員会

委員長 五十嵐 佳之

会員の皆様におかれましては、日頃より当委員会の活動に対しご理解とご協力を頂いております事、委員会を代表いたしまして厚く御礼を申し上げます。

業務支援委員会では会員間の相互理解と親睦を目指し、会員様へのサービスとなるべく事業を行ってまいりました。昨年は東京湾サンセットクルーズに於きまして70名を超える会員の皆様と楽しいひと時を過ごすことが出来ました。また、青年部を中心とした埼玉東支部主催のゴルフコンペにも多くの会員の皆様にご参加いただきました。本年も会員の皆様喜んで頂けるような企画を設営して参りますのでご参加の程宜しくお願い致します。

情報提供委員会

委員長 小勝 元貴

情報提供委員会では、昨年10月後半から11月後半にかけて、各地区において、不動産フェアを開催致しました。会員の皆様には、多くのご協力を頂きましたこと、この場を借りて御礼致します。

また、2月9日(火)には、やしお生涯学習館にて、第2回パソコン講習会を開催致しました。「スマホカメラでもここまで撮れる 楽しく学べる最新! 物件撮影テクニック!」と題して、日本スキルズ 働の吉田様にお越しいただき、スマホやデジカメを使用した様々な物件撮影の方法を学ぶことが出来ました。

本年も、会員の皆様の役に立つ多くの情報提供が出来る様、メンバー一丸となって邁進してまいりますので、引き続きのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。



宅建協会マスコットキャラクター

ハトたま

「誰もが素晴らしい不動産と出会い、実を結びますように…」
そんな想いを込めた大ききなりボンをつけて、元気に飛び回る
タマゴみたいなハトの女の子です。

草加地区近況報告

副支部長 兼 草加地区地区長 木村忠義

会員の皆様には、日頃より当支部の活動に対しご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。早速ですが、草加地区の近況報告をさせていただきます。皆様もご承知とは存じますが、新田駅東口地区では、平成28年12月12日付けで建築物を建築する際のルールとなる地区計画及び準防火地域の都市計画決定が行われました。「新田駅東口地区都市計画の概要」・建築物等を建築する際に必要となる「新田駅東口地区まちづくりルールブック～地区計画届出の手引き編～」等がありますので活用して頂ければと思います。詳しくは、草加市都市整備部、新田駅周辺土地区画整理事務所までお問い合わせをお願いします。

最近反社会的勢力等の事件が報道されておりますが、会員の皆様方は大丈夫でしょうか?管理している物件に入居されていませんか?他人ごとではありません!取引業務がより安心・安全に行えることを考え、以前から紹介している、公益財団法人埼玉県暴力追放センターへの人物照会を利用してください!調査時間はわずか10分位で電話にて回答が頂けますので助かります。みなさんご利用してみても如何ですか?「人物照会の申し込み」等は事務局にありますのでぜひご利用をお願いいたします。

結びに草加市の自治文化部みんなでまちづくり課より、当支部と協定を結んでいます「町会自治会加入促進」の更なる促進のお願いがございました。加入促進の主旨についてもご理解ご協力をお願い申し上げます近況報告とさせていただきます。



八潮地区近況報告

副支部長 兼 八潮地区地区長 吉田準一

八潮地区においては、数年前より毎年、市長への要望書・市議会への陳情書を実施してまいりましたが、この問題については、まったく進展しない状況でありました。

このようなことから、昨年の12月第3回定例会への請願を行うことで、八潮地区役員での結論となりました。八潮市都市計画南部3地区の建築物の敷地面積の最低限度165㎡規制緩和を求める請願による審査に至りました。その結果は、市役所より9点の指摘事項があり、29年3月議会への継続審査となりました。今後、この請願について会員各位にご協力いただくことがある時は、よろしく願致します。



三郷地区近況報告

副支部長 兼 三郷地区地区長 鈴木邦男

三郷地区の近況ですが、三郷インター南部土地区画整理事業が昨年3月に終了し、更にその南地域である花和田、谷口地区の市街化調整区域7.87ヘクタールが、今年4月より土地区画整理事業開始となります。地権者は約50名で、組合施行による事業となります。

減少割合約40%、用途地域は全域工業地域で、地区計画により住宅建築は不可となるそうです。事業期間は2021年3月末完了予定で、超短期事業となっております。皆様へ、当事業開始以降において、倉庫および工場等の用地希望がありましたらお問い合わせ下さいませ。



広報誌への広告掲載希望者募集!

毎年2回(3月・9月予定)発行される、埼玉東支部広報誌への広告掲載希望者を募集いたします。

広告スペース
(実寸大)
縦 40mm×横 91mm

- 【掲載費用】
- 営利を目的としない生活情報等 ￥5,000 (税込)
- その他の掲載物 ￥10,000 (税込)
- 【発行部数】 500部
- 【お問合せ】 支部事務局まで (048-932-6767)

※広告の製作を希望される方は別途費用が発生します。

広報誌は埼玉東支部の会員約340社に直送便にて送付され多くの会員様が読まれます。到着は発行月の月末となっています。不動産業者はもちろん、不動産業にゆかりのある業者様その他、営利を目的としない生活情報等、幅広く募集いたします。

※掲載には一定の条件があります。ご確認ください。

